

共に創る掛川
藤澤恭子

南部海岸線の活用と活性化について問う

Q マリン・ビーチスポーツの誘致を積極的に行い、本来もつ海岸部の魅力を最大限に活かしたPRをすべきと考えるが、いかがか。また、斜め海岸林について、日本農業遺産の登録を目指してみてはいかがか。

A マリン・ビーチスポーツの誘致を積極的に行い、本来もつ海岸部の魅力を最大限に活かしたPRをすべきと考えるが、いかがか。また、斜め海岸林について、日本農業遺産の登録を目指してみてはいかがか。

子育て世代の声を市政に
(ワークショップ開催の様子)

Q 子育てを「尊い仕事」と認識し、「在宅での子育て」応援策を講ずるべきだとと思うが、いかがか。また、子育て世代の声を活かした施策を開拓すべきだと思うが、いかがか。

皆さんの声を直接聞き、施策につなげる

A ファミリー・サポート・センター事業の需給バランスを改善し、利用しやすくした上で、利用券の配布を行うことを検討していきたいと思います。

プロモーションサイトでもPRする

A マリンスポーツや観光と遠州灘海岸を絡めた魅力を活用し情報発信するとともに、本年度作製するプロモーションサイトでも南部海岸線の観光資源をPRしていきます。

斜め海岸林は海岸線の後退やクロマツなどの松枯れの進行などの課題もありますが、「希望の森づくり」などの海岸林の再生事業を行い、日本農業遺産の登録に向け進めていきます。

Q 子育てを「尊い仕事」と認識し、「在宅での子育て」応援策を講ずるべきだとと思うが、いかがか。

創世会
藤原正光

広域避難所の対象地区の見直しを

Q 広域避難所の対象地区とまちづくり協議会の区域が違う地区がある。地域防災計画や避難所運営に支障をきたす恐れがあるため、広域避難所の対象区域の見直しについて伺う。

地域の意見を聞きながら見直しを検討

A 現在の広域避難所は、まちづくり協議会の構想のない時期に、区割りされています。今後も広域避難所の地区割りについて、地域の意見を聞きながら、避難所の収容能力を加味し、見直しを検討していくます。

Q 避難所の立ち上げ時には、様々な混乱が予想される。指定管理施設での避難所開設に關し、指定管理者とのルールや役割分担を明確にする必要があると考えるが、いかがか。

指定管理者とも十分な協議が必要

A 市内の広域避難所のうち、指定管理施設は、掛川市南体育館など2施設がありますが、これらの施設とは、避難所の防災拠点としての機能や支援に関する業務等について、包括協定を市と締結しています。しかし、細部で協議が十分でない点もありますので、早急に対応します。

【他の質問事項】
・福祉避難所での応援機関が連携する情報共有拠点の設置について

広域避難所に指定されている指定管理施設の一つ
市南体育館「しせいぽ」